学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
国　語	国語総合　（　国語総合β　）	2	2	なし

使用教科書	副読本等
三省堂「明解　国語総合　改訂版」	尚文出版「キーワードの卵」

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教科書・ノート。その他は必要があればそのつど連絡。		○				○		

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な文章を通して、国語力を磨いてもらいます。具体的には、文章を的確に理解する力、文章を自分なりに味わう力、自分の感じたことを表現し、伝え合う力などです。
また、簡単な古文や漢文を通し、古典（昔から今まで愛されてきた文学）に親しんでもらいます。
もちろん、基本的な語句の学習も行います。

2．学習の到達目標

・基本的な語彙を理解し、漢字を用いて表記できる。
・伝統的な言語文化や思想、古典世界や日本語の歴史に対する興味を持つ。
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、語句などについて理解し、知識を身につけている。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査			・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査	・授業ノート ・授業プリント ・観察 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4月 ～ 5月 中旬	古文入門	古文の世界へ 児のそら寝	○ ○			○ ○	○ ○	a:古文についての理解を深め、おもしろさを味わう。 d:説話を読んで、基本的な読解方法を習得する。 e:音読を繰り返し、古文のリズムを味わう。	授業態度 発問評価 定期考査
5月 下旬 ～ 7月	随筆	高名の木登り	○			○		a:現代に通じるテーマを持った文章を読み、古文に親しむ。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	授業態度 発問評価 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	物語 和歌	筒井筒 うたう心	○ ○			○ ○	○ ○	a:和歌の鑑賞のしかた、和歌の読解方法を習得する。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 e:古文の情景のうつりかわりを理解する。	授業態度 発問評価 定期考査
10月 中旬 ～ 12月	漢文入門 漢詩	虎の威を借る 勧酒 涼州詩	○ ○ ○			○ ○ ○	○ ○ ○	a:漢詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 d:漢文の読解方法を習得する。 e:漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。	授業態度 発問評価 定期考査
1月 ～ 2月	軍記	木曽の最期	○			○		a:古文についての理解を深め、おもしろさを味わう。 d:話の構成や展開を把握する。	授業態度 発問評価 定期考査